【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	佐野市家庭教育支援チーム (呼称: チームさの)
②活動拠点	佐野市
③活動範囲	佐野市内全域
④組織体制	10 人 家庭教育オピニオンリーダー 6人、民生委員 2人、 現保育士 1人、学童保育指導員 1人(重複あり)
⑤活動開始年度	<u>平成20 年度</u>
⑥問合せ先	(部署・氏名等)佐野市教育委員会生涯学習課社会教育係
	(TEL)0283-20-3109 (E-mail)syakaikyouiku@city.sano.lg.jp

(2)活動内容について

	☑保護者等への学びの場の提供 □保護者等への地域の居場所づくり		
①活動形態 (複数チェック可能)	☑アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) □自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☑保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) □その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) □その他(
②活動対象 (複数チェック可能)	✓乳幼児 ☑小学生(低学年) ☑小学生(中学年) ☑小学生(高学年)☑中学生 ☑高校生以上の子供を持つ保護者に対する活動を実施		

③活動内容	【具体的な活動内容】 ・「わくわく子育てお出かけ講座」 市で行っている事業で、幼稚園や保育園、小学校等へアシリテーター役を務めています。 ・相談活動 こどもの国(児童福祉施設)で、月1回「マミー広場」の履行っています。 ・年に数回支援チーム会議を開催し、講座内容の検討を構を換を実施しています。	開催時に相談活動を
④活動の成果(活動実績がある場合)	・就学時健康診断や1日入学の際に、入学前の親の心構えや、入学前に親子でできるようにすることなどについての講座を行いました。 ・講座の内容は、ファシリテーターが一方的に話すのではなく、保護者同士が悩みや入学への不安などを話し合うことを中心に行うことができました。 ・保護者のアンケートからも、「グループでの話し合いの中から、親としての共通の悩みや喜びを感じることができました。」との感想もいただくことができました。	
⑤活動財源 (複数チェック可能)	□文部科学省補助事業(事業名: □文部科学省委託事業(事業名: □厚生労働省事業(事業名: □地方公共団体単独事業として実施 □特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) □その他の支援により活動を実施 ()